

# 第1号議案 令和6年度事業報告書

書式第12号（法第28条関係）

## 令和6年度 事業報告書

特定非営利活動法人 日本トラウマ・サバイバーズ・ユニオン

### 事業の成果

特定非営利活動法人日本トラウマ・サバイバーズ・ユニオン(JUST)は、令和5年度において、前年度に引き続きミーティングと無料電話相談(ホットライン)を行い、さまざまな心の問題を抱える人に対応した。

令和5年度の主な活動内容は、以下の通りである。

#### (1) 電話相談事業(ホットライン)

当法人設立以来継続している事業の一つである。当年度の無料電話相談(ホットライン)の総件数は、**526 件**であった。年度末時点の相談員は10名である。

#### (2) サバイバーアクティビティの分かれ合いの場としてのミーティング活動事業

○(自助グループ)安全な場として、お互いの話を批評、批判しない「言いっぱなし、聞きっぱなし」形式を原則とする分かれ合いは、ミーティング活動として電話相談事業同様、当法人設立以来継続している。年間の参加者数はおよそ **3,000**名であった。年度末時点の活動グループ数は **20** グループである。Zoomを利用したオンラインによるミーティングを含む。

○月1回日曜午後に齊藤學理事長による「JUST さいとうミーティング・オンライン」を実施した。当年度 **11** 回開催し延べ参加者数は、**249**名であった。

○ほぼ毎週月曜午後に齊藤理事長によるミーティング「JUST 俱楽部 with 齊藤學」を開催した。当年度 **43** 回開催し、延べ参加者数は約 **600**名であった。

#### (3) 講演会・ワークショップ等の社会教育・広報活動事業

令和6年4月29日に、東京ウィメンズプラザにて「生き方が変わる対話とは」を東京ウィメンズプラザにて開催し、**103**名の参加があった。

令和6年11月より、YouTube チャンネル「さいとう対談」を今後収益化するための試験運用としてパートナーシッププログラムに登録した。現在、毎月2万円超の収益となっている。

#### (4) 会報の発行及び、刊行物等の発行に関する事業

会員向けの会報である「JUST 通信」は、当年度年5回(**119～123**号)の発行を行った。

#### (5) 個々の事業に必要なボランティアの受け入れ、及び必要とされる人材の養成事業

特になし。

#### (6) 関連団体との情報交換、連絡調整及び協力活動事業

各グループ、各メンバーにおいて、適宜情報交換等を実施

心と健康の維持を目的に、果物農家と連携した取り組みを行い、就業の創出を行うとともに社会内での人間関係の構築に寄与する。具体的には、梅肉エキスを扱う lea-farm(<https://www.lea-farm.com>)との連携を行った。エキスや梅肉を仕入れて製品にして販売を目指しているが、現状は渋谷のB型作業所お菓子屋パレットにOEM供給の話を取り付けたが発注には至っていない段階。

#### (7) 面会交流支援事業

面会交流実施に関する相談や、面会交流への同行等の支援を実施。価格を改定したが利用者は減らなかつたため増収となっている。

#### (8) 前項(1)～(7)の事業を行うための募金活動事業

会報、ホームページ等で適宜実施している。原則として一般向けに行っているミーティング活動でも、献金の呼びかけをしてきた。

#### (9) その他この法人の目的達成に必要な事業

事務局スペースを、問題を感じている当事者等がいつでも立ち寄れる場として、一定時間開放している。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【2,850】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
1.電話相談事業	ホットライン(ピア・カウンセリング) ボランティアメンバーが、全国から同じような悩みに苦しんでいる方々の声を対等な立場で聴く。	週 8 時 間 前後	事務局(港区) クラウドホンによる自宅受電	8人	全国	年間のべ 526人	387
2.生存者体験の分かち合いの場としてのミーティング活動事業	「言いつぱなし、聞きつぱなし」を原則とし、仲間と自身の体験や感覚を分かち合う。	週8回 前後	事務局、PIAS麻布コレクティヴスペース、公共施設(港区、町田市)ほか オンライン(zoom)	20人	全国	年間のべ 約 4,000 人	834
3.講演会・ワークショップ等の社会教育・広報活動事業	JUSTフォーラム	令和 6 年 4 月 29 日 10 時	東京ウィメンズプラザ	20人	全国	103人	297
	Youtubeさいとう対談	随時配信	家族機能研究所等	4人	全国	登録者 1,200人	55
4.会報の発行及び、刊行物等の発行に関する事業	・ 会報の発行 119号～123号 ・ 電子書籍等刊行	随時	事務局(港区)、リモート制作	3人	全国	約200人	93
5.個々の事業に必要なボランティアの受け入れ、及び必要とされる人材の養成事業	実施無し	—	—	—	—	—	0
6.関連諸団体との情報交換、連絡調整及び協力活動事業	・関係団体、自助グループ等との情報交換、相互協力(情報発信等) 梅シロップ業者との連携	随時	各所	2人	全国	—	15
7.面会交流支援事業	別居・離婚後の家族が、中立な第三者の仲介のもと、子どもにとつて安心できる環境で面会交流が実施できるよう支援する	随時	各所	4人	関東	45回	1096
8.前項 1.～7.の事業を行うための募金活動事業	ミーティング参加者への献金呼びかけ等	随時	—	—	—	—	0
9.その他この法人の目的達成に必要な事業	いつでも立ち寄れる場としての事務局開放	昼間	事務局	3人	全国	のべ 約600人	722

### (2) その他の事業

実施なし。